

第13回人文地理学会政治地理研究部会

テーマ「占領と人権」

パレスチナの長期占領

—それが意味するものと私たちの課題—



日時：2015年 **3月1日(日)** **14:00 ~ 17:00**

会場：京都大学 **吉田南総合館 西棟 4階 共西 41 教室**

情勢説明：占領というテロル—反開発、スペシオサイド、漸進的ジェノサイド

発表者：岡 真理 (京都大学：現代アラブ文学、パレスチナ問題)

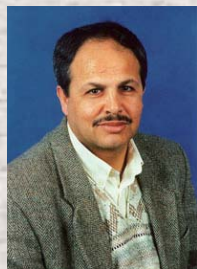
講演：イスラエルによるパレスチナ長期占領—その意味と課題

The Israeli Long Occupation of Palestinian Territory:
Implications and Challenges

発表者：ラーセム・ハマーイシー (ハイファ大学：地理学、地域計画)

(英語発表には逐次通訳がつきます)

参加費無料
どなたでも
ご参加
できます。



ラーセム・ハマーイシー (Rassem Khamaisi) 氏

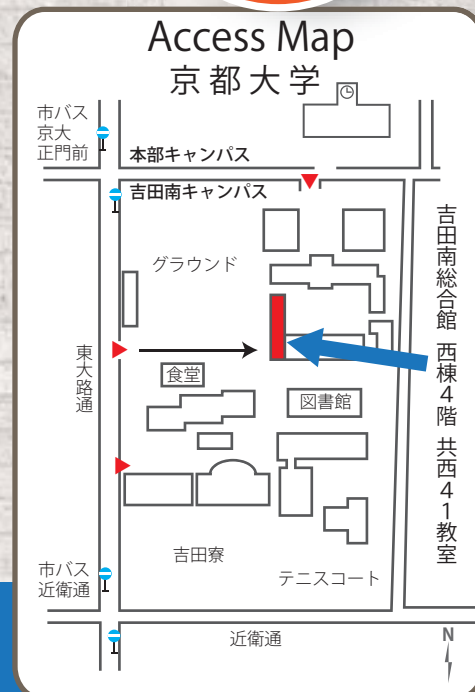
1993年にエルサレム・ヘブライ大学より博士号(地理学)取得。
現在、ハイファ大学地理・環境学部教授。専門は都市・農村地理学、
特にイスラエル領内、被占領下パレスチナ、およびエルサレムの都市・
地域計画について研究。また、イスラエルや占領地のパレスチナ人
NGOのメンバーとして公共・環境政策、住民参加、地域計画・開発に
取り組み、イスラエル内務省や土地行政局が助成するプロジェクトに
携わる。隔離壁がエルサレムやイスラエル国内のアラブ人に与える
影響の研究はじめ編著書・論文多数。

共催：京都大学大学院 人間・環境学研究科 岡真理研究室

大阪市立大学 人権問題研究センター

協力：(特活)日本国際ボランティアセンター (JVC)

市民社会フォーラム



連絡先：飛奈裕美 (京都大学) e-mail: tobina.hiromi[at]gmail.com

政治地理研究部会 HP: <http://www1.doshisha.ac.jp/~tfutamura/PGRG/bukai.html>